



30年以上続く蒲船津散田地区の清掃 川はみんなできれいに

蒲船津散田地区で7月24日、二ツ川の清掃がありました。これは、川を大切にすることを高めようと、昭和62年から同地区が続けている活動。当日は地域住民約100人が川底や川の周辺を清掃し、軽トラック2台分のゴミが集まりました。二ツ川を守る会の藤吉昌徳会長は「活動を始めたころ集まっていたゴミは1日で軽トラック5、6台分。清掃を続けていることで川を大切にすることがみんなに浸透してきた。今後も続けていきたいですね」と思いを語りました。

CONTENTS

	ページ
マイナンバー取得強化週間ほか	2-3
屋外広告、火災報知器設置ほか	4-5
お知らせ掲載	6-7
人権・同和教育シリーズ	8

発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kouin@city.yanagawa.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。



柳南中学校3年
武下 美咲

互いの価値観を 認め合う

「価値観」という言葉。現代社会は、インターネット、SNSが日常生活の中に浸透しており、私たちの生活に欠かせないものとして、簡単に情報を得られるようになったから、よく耳にする言葉だと思っています。

私が、「価値観」という言葉を意識するようになったのは、中学生になってからのことです。友だちと話しているときに、「さっ」と「結婚したい」と聞かれたので、「うん、したい」と答えました。それまで、考えたこともなかった結婚についてでしたが、両親の姿を見ていて、結婚するのが普通に感じられたからです。しかし、友だちは、「私は結婚しなくてもいいかなあ」と言いました。私は、少し驚きました。それから、お互いに自分の考えていることを話し

ました。

この出来事をきっかけに、友だちと結婚についてだけではなく、高校のこと、世の中で起きていること、将来のことなど、いろいろなことについて話すようになりました。そして、友だちには友だちの考えがあることを知り、刺激を受けました。そして、もっと話したい、いろいろな考えを知りたいと思うようになりました。

また、あるとき、好きなアイドルグループがネット上で炎上してしまい、そのことに対して不満を言ったとき、父から「ファンだからそう思うのは仕方ないけど、他の見方もできるんじゃないか」と言われたことがありました。

このような経験が重なり、人それぞれ、ものごとの捉え方、見方に違いがあることを

考えるようになりました。

人にはそれぞれ違いがあります。見た目や考え方や人が違いを持っているのは当たり前のことです。時に私たちが、同じ考え方の人とはかたがた話したり、自分と違う考えの人を避けたりしてしまいがちです。そして違うという勝手な思い込みや固定観念から、差別や偏見が生まれてくるのでしよう。自分と違う価値観を持っていることをお互いが受け入れ、自分も周りの人も幸せに生きていくための権利を大切に扱おうということが、人権を尊重するということではないでしょうか。

これから私たちは社会に出て、たくさんの人たちとの出会いが待っています。その中で、まず必要なことは、話してみるのだと思います。今後も、自分の考えを大切に

ながら、いろいろな人とコミュニケーションをとり、共感したり、違いを認めて、お互いの意見を尊重したりしながら過ごしていきたいと思っています。そこから、また新しい発想や考えが生まれてくると思うと、とても楽しみです。

【先生からの一言】

いろいろな人との関わりの中で成長していきたいという、前向きな姿勢がとてもよく表れています。互いに認め合える人権を大切にして、新しい世界での出会いを楽しみだと考えている美咲さんは、きっとすてきな人生を歩んでいけると思いますよ。